沼田老人いこいの家 新庁舎2階へ入居

安川沿いの新庁舎

沼田合同庁舎＝愛称「火山館」（ひやまかん）＝は一月四日、沼田老人いこいの家、沼田公民館、安佐南区役所沼田出張所の三施設が同時開館します。

一階は交流スペース、二階はいこいの家と出張所、三階と四階は公民館。伴社協が現在三期目の広島市指定管理者になっている老人いこいの家は、エスカレーターで上がれます。

安川の水辺の景色も望める浴槽のほか、大集会室や和室など現在と同様の機能を備え、利用者の年間目標はこれまでの一万六千人から一万八千五百人に増えます。

開館準備のため、いこいの家と公民館は十二月休館します。

見直し作業詳報

伴社協の見直し作業は、七月二十一日の「福祉のまちづくり」のワークショップ＝写真＝からスタート。事業・組織・財務の三つの検討班で進めました。現時点の主な意見や提案を表にしました。

31年度以降に見直したい主な例

経費の削減を検討する	一人暮らし高齢者ふれあい会
	グラウンドゴルフ大会
	敬老会補助金
	サロン参加者補助金
	子どもと高齢者ふれあい会補助金
活動を充実させる	町内会と連携する福祉委員 ▽ボランティアバンク「とも」 ▽伴あんしんネット ▽夏休みの挨拶をしようラジオ体操と通年の「げんきかい」 ▽サロン（会場増）
課題や提案	社協主催で地域全体を対象にした行事がない ▽研修部の新設 ▽部会長の任期制導入

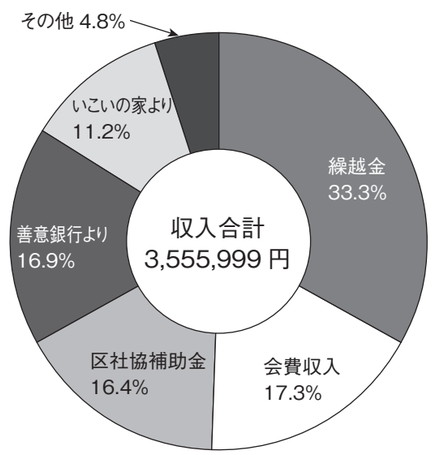
3つの活動目標

伴社協の評議員会は六月二日開き、平成三十年度一般会計予算と事業計画を決めました。一般会計予算額は前年度より一一・六％減の355万5999円。

収入面では、町民が社協に町内会経由で納める会費（一世帯当たり年間二百円）の総額は2割足らず。善意銀行と老人いこいの家の特別会計を取り崩し、一般会計へ繰り入れている合計は収入全体の3割に迫ります＝**別表**。

こうした危機感を踏まえ、本年度の活動目標として①町内会や子ども会など**地域の組織と連携**を強める②社協の**組織・事業・財政**を見直す③**善意銀行の在り方**を見直す――の三点を掲げました。

平成30年度一般会計予算収入



私も地域に役立ちたい

～住民参加型の善意銀行を提案～

香典返し等を寄付していただいている善意銀行について、伴社協は来年度以降、あり方を見直します。子どもからお年寄りまで、社協を身近で親しみやすく「**私も地域に役立ちたい**」との思いを培い、新たな収入源に育てたい願いです。

改革案の意義を説明する川本副会長（10月27日・いこいの家）

地域のみなさんからの寄付金について、寄付者の意向に沿って使途分野を決める安佐南区社協のような例もありますが、地区社協の大半は不足する一般会計に組み込んでいます。地域の福祉向上に無償で奉仕する社協の活動自体が篤志の趣旨に沿っているという考えからでした。

今改革で寄付金の使途をガラス張りにします。名称は「**伴学区たすけあい善意銀行**」。キャッチフレーズは「**愛　あいバンクとも**」とします。

改革の主な柱は、社協の特別会計とし別途、運営委員会を設置。寄付金の提供先も選ぶ▽**協賛企業や個人会員を募り、住民参加と財政基盤づくりに役立てる**――などです。

当面の寄付金の提供先として、社協一般会計の「団体育成費」の対象団体とします。新たな提供先は、原則として公募し、運営委で審査。盲導犬や車いすなども含め、幅を広げます。

その他、募金箱「**愛　あいボックス**」（仮称）を学区内の商店などに設置し、善意銀行の理解と認識を深める取り組みも検討したいと思います。

善意銀行への御寄付 ありがとうございました

（敬称略）

▼香典返しにかえて

（平成三十年四月～十月）

町内会	寄付者御芳名	死没者名
奥畑	赤迫敏美	原正寿
上伴西	守純一	孝一
	上岡光江	龍治
	山崎幹江	貞幸
	山口猛	輝男
三城田	高島明美	山広得吾
	川本一之	俊雄
	荒槙正義	礼子
大原	藤井美代子	新見恒夫
ライオンズマンション大原駅前	若元節子	秀夫
雲願寺	國光伸江	宣揚
細坂	天王省治	チヨノ
瀬戸内苑	増原みどり	嵩洋

▼一般寄付者

三城田　船越春夫

～善意銀行とは～

お返しの気持ちはお礼状のみにとどめ、金品は伴学区善意銀行に寄付していただき、地域の福祉向上に役立ててもらいましょう。

お気持ちを社会福祉協議会にご寄付していただくとき

1　JA伴支店か沼田老人いこいの家に出向き

2　窓口で伴学区社会福祉協議会に寄付したい旨をお話しください

あなたのご芳志で伴学区社会福祉協議会の活動は支えられています

地域情報掲示板 ひやま

奥畑下集会所で「**下組なかよし会**」が草花遊び。手先の訓練になるちぎり絵の制作・展示も。卒寿を超えたお年寄りが地域を引っ張っています。